



「わくわく」して、一人一人が活躍した音楽会

本日は音楽会を無事開催することができ、安堵しつつ、子供たち一人一人が活躍することができ嬉しく思っています。新型コロナやインフルエンザもあり、欠席などで、心配していましたが、子供たちの「わくわく」の表情をたくさん見ることができ、本当に感動溢れた一日となりました。以下はプログラム順に、今日の音楽会を振り返ってみたいと思います。

【合唱部オープニング演奏】「わたしが呼吸するとき」

聴衆の心を引き寄せる合唱部の歌声でした。歌詞の意味を考えながら世界の平和を願って堂々と歌う姿は、皆のお手本となりました。数々のステージをこなしていますが、やはり帯西のステージが一番しっくりきます。美しい歌声の響きを聴くことができ、オープニングが華やかなものになりました。

【1年生】合唱「世界中の子どもたちが」 合奏「きらきらぼし」

1年生の合奏する姿からは、「楽器を演奏することは楽しい!」という思いが伝わってきました。元気いっぱいの歌声からは、世界中の子どもたちの「笑ったら」「泣いたら」の歌詞を1年生なりに考えて歌ってくれました。そして、1年生全員の明るく元気な表情が体育館中に煌めいていました。

【2年生】合唱「ドレミの歌」 合奏「山のポルカ」「ミッキーマウスマーチ」

合唱は、歌ったり踊りを交えたりしながら、音の高さのイメージを掴みながら、表現してくれました。合奏は、ポルカ(2拍子の快活なダンス)の軽快なリズムを演奏し、「ミッキーマウスマーチ」からは、元気に行進しているイメージが溢れていました。集中力のある2年生の演奏に、成長を感じました。

【3年生】リコーダー奏と歌による表現「パフ」「エーデルワイス」

今年から習っているリコーダーの演奏を披露してくれました。「パフ」は、響きを楽しみながら演奏してくれました。「エーデルワイス」は、ゆったりとした滑らかな曲の中に、ときおり躍動感のある場面も現れますが、子供たちが演奏の仕方を工夫して、心一つに響き合わせることができました。

【4年生】合唱「チャレンジ」 合奏「スーパーカリフラジリスティックエキスピアドーシャス」

合唱は、4年生がみんなと心通わせながら楽しく歌を歌っている姿がありました。帯西レッドの心を大いに伸ばして欲しいと思いました。合奏名、長いですね!これは英語の長大語の一つです。たくさんの楽器を演奏し、一人一人が工夫しながら、英語の意味の通り「素晴らしい」演奏になりました。

【5年生】合唱「この星に生まれて」 合奏「ルパン三世のテーマ」

合唱は、歌詞の一つ一つの言葉の意味を理解しながら、イメージを膨らませ歌声に込めていることが伝わりました。合奏は、軽快なリズムの中に、そのノリのよさやカッコよさを味わいながら、一人一人が表現の工夫を考えながら演奏していることが伝わりました。高学年として圧巻の演奏でした。

【6年生】合唱「地球星歌~笑顔のために~」 合奏「アフリカンシンフォニー」

魂をこめた歌声から、平和な世界や幸せな未来は人任せにせず、愛する人と共に作らなければならないと実感しました。合奏は、打楽器によるリズムフレーズの繰り返しによるよさや面白さを味わいながら、アフリカ・サバンナの大地を見事に表現してくれました。最高学年として、手の甲の「響」の文字通り、全体のまとまりを意識した表現方法は小学校生活の集大成としての姿を発揮してくれました。



音楽会に向けて、学校が「わくわく」に向かって一つになることができました。子供たちには、「4つの心」のどこが伸びたのか成長の実感をしっかりと味わわせながら、今回の経験を次への活動へ生かしたいと思います。音楽会までに、高学年が楽器やステージの準備をし、音楽委員会が運営を担当するなど、学校全員でやり遂げました。保護者の皆様、本日はご多用の中、本校の音楽会に参観・または Zoom で視聴頂き、ありがとうございました。